

Mizuho Daily Market Report

2024/1/31

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.21	147.61	+0.11	▲0.74
EUR	1.0823	1.0845	+0.0012	▲0.0009
AUD	0.6614	0.6602	▲0.0009	+0.0022
SGD	1.3392	1.3393	▲0.0009	▲0.0020
CNY	7.1771	7.1778	▲0.0026	+0.0060
MYR	4.7270	4.7273	▲0.0062	▲0.0004
THB	35.30	35.37	▲0.21	▲0.32
IDR	15780	15780	▲30	+150
PHP	56.41	56.41	+0.12	+0.25
INR	83.12	83.11	▲0.03	▲0.05
VND	24443	24413	▲130	▲149

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.032%	▲4.2 bp	▲9.6 bp
日本(10年)	0.717%	▲0.6 bp	+4.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.268%	+3.3 bp	▲8.4 bp
オーストラリア(5年)	3.754%	▲5.1 bp	▲7.2 bp
シンガポール(5年)	2.846%	▲2.2 bp	▲2.2 bp
中国(5年)	2.289%	▲4.3 bp	▲10.6 bp
マレーシア(5年)	3.542%	▲0.4 bp	▲1.9 bp
タイ(5年)	2.352%	▲2.2 bp	▲7.9 bp
インドネシア(5年)	6.524%	▲3.2 bp	+5.6 bp
フィリピン(5年)	5.994%	▲0.4 bp	▲2.4 bp
インド(5年)	7.085%	+0.2 bp	▲1.8 bp
ベトナム(5年)	1.500%	+9.0 bp	+11.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,467.31	+0.3%	+1.5%
N225(日本)	36,065.86	+0.1%	▲1.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,662.70	+0.5%	+4.4%
ASX(オーストラリア)	4,189.31	+0.4%	+2.3%
FTSTI(シンガポール)	3,150.04	+0.3%	+0.5%
SSEC(中国)	2,830.53	▲1.8%	+2.1%
SENSEX(インド)	71,139.90	▲1.1%	+1.1%
JKSE(インドネシア)	7,192.22	+0.5%	▲0.9%
KLSE(マレーシア)	1,512.75	▲0.2%	+1.1%
PSE(フィリピン)	6,622.01	▲0.1%	+0.0%
SETI(タイ)	1,373.14	▲0.2%	+1.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,179.65	+0.3%	+0.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	274.00	+1.2%	+2.2%
金	2,037.01	+0.2%	+0.4%
原油(WTI)	77.82	+1.4%	+4.6%
銅	8,511.75	+0.7%	+2.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.00	-	148.50
EUR/USD	1.0780	-	1.0900
AUD/USD	0.6500	-	0.6650
USD/SGD	1.3340	-	1.3440
USD/CNY	7.1700	-	7.2100
USD/INR	4.7120	-	4.7500
USD/THB	35.00	-	35.90
USD/IDR	15750	-	15850
USD/PHP	56.00	-	56.60
USD/INR	82.70	-	83.20
USD/VND	24,100	-	24,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円台半ばでオープン。前日の米財務省のヘッドラインの影響もあってか、上値は重いながらも、31日海外時間にFOMCの政策発表を控え様子見ムードも強く、147円台前半で方向感を欠く展開。日中を通して147円台半ばを中心とした狭いレンジ内での推移となり海外時間へ渡った。アジア通貨も総じて方向感に欠ける展開。FOMC会合を控える中、様子見ムードが強く目立った方向感は見られなかった。

海外市場のドル円は147円台半ばで米州時間入り。米州時間朝方は米金利の低下が重しとなり、147円台前半まで下落。しかし、続いて発表された米1月コンファレンスボード消費者信頼感指数と米12月JOLT求人件数が予想を上回った結果を受け、ドル買いが優勢となり、147円台後半まで上伸。午後には米金利の上昇一服を背景に、上昇幅を縮小させ147円台半ばでクローズした。

【金利】

金利市場は、長期を中心に低下し、金利カーブはツイストフラット化となった。米州時間朝方に発表された経済指標のうち、12月JOLT産業別求人件数が予想比強く出たことで、発表後債券売りが強まり、金利は急上昇したが、その後引けにかけては明日に控えるFOMC政策金利発表への様子見ムードとなり、買い戻しが入ったことで、金利は低下した。

【予想】

本日はFOMCの結果次第ではあるものの、ドル高を予想。足元の金利市場では3月会合での利下げを50%程度織り込んでいる状況ではあるものの、直近のFRB高官の発言を踏まえ、一段の利下げ織込み後余地はあるものとする。FOMC後のパウエル議長会見においてタカ派なコメントが出るものと予想し、米金利上昇・ドル高を予想する。

【本日の予定】

(日本) 12月 住宅着工件数 / 住宅着工戸数
(日本) 12月 小売売上高 / 百貨店・スーパー売上高
(日本) 12月 鉱工業生産(速)
(日本) 1月 消費者態度指数
(アジア) 12月 インド インフラ産業8業種
(アジア) 12月 インド 財政赤字
(アジア) 12月 シンガポール シンガポール国外居住者預金・残高
(アジア) 12月 タイ 国際収支
(アジア) 12月 フィリピン 銀行貸出動向
(アジア) 12月 豪 民間部門信用
(アジア) 12月 韓国 鉱工業生産 / 景気先行指数変化
(アジア) 1月 NZ ANZ企業景況感
(アジア) 1月 中国 製造業PMI / 非製造業PMI
(アジア) 1月 豪 コロニック住宅価格
(アジア) 4Q フィリピン GDP
(アジア) 4Q 豪 CPI
(アジア) マレーシア新国王の即位式
(欧州) 1月 仏 CPI(速)
(欧州) 1月 独 CPI(速)
(欧州) 1月 独 失業者数 / 失業保険申請率
(欧州) 1月 英 ロイス景気指数
(欧州) 独 国債入札(10Y)
(米国) 1月 ADP雇用統計
(米国) 1月 MNIシカゴPMI
(米国) 4Q 雇用コスト指数(確)
(米国) FOMC
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) パウエルFRB議長会見

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。